

平成 30 年度前期始業式校長挨拶

おはようございます。始業式ですね。始まります。始まるって何でしょう。今日はこの「始まり」について考えてみましょう。「始まり」には時間的な始まり、つまり「昔そこから」という意味と、原理的な始まり、つまり「今もそこから」という意味があります。ここでは時間を前提することなく、原理的な意味で一番最初の始まりを考えてみることにしましょう。つまり最も根源的・根本的なものは何か、ということです。

さあ、今からいくつか候補を挙げて見ますので、そうだと思う人は手を挙げてください。何度挙げても構いませんが、最後にもう一度聞きますので、その時は一つに決めてください。それ以外の考えを持っている人はその他で手を挙げてください。またどの教科が根本的かも聞いてみたいと思います。ただし、人気投票ではありません。その辺に気を付けてください。先生方も挙手していいですよ。では始めます。

- ①すべては物質から成り立っている。物質が始まりだ。そこから生命も人間精神も成立している。教科としては理科が根本的である。
- ②ちがう。宇宙は法則に従って秩序を成している。こうした秩序の方が先だ。それは設計図と目に見えるものでは設計図の方が先にあるのと同様だ。黒板に描かれた三角形と頭の中にある三角形を比べて見るがいい。頭では完全な三角形を考えることができるが、目に見えるものはみな不完全で近似的なものばかりだ。だから論理的なもの、数や図形といったものの方が先だ。教科としては数学が最も根本的である。
- ③ちがう。物質といい、論理といい、すべては言葉だ。だから言葉が先だ。国語や英語などの言葉を対象とする教科が全ての教科の根本だ。
- ④ちがう。言葉も理科や数学などの科学も時代文化の産物だ。すべての根本は時代文化である。社会科が全ての教科の根本だ。
- ⑤ちがう。国語や英語の中の文学的なものを除けば、これまでの教科はすべて知識によるものだ。知識より感性の方が先である。またこれまでの教科は理科的な側面、数学的な側面、といった視点から切り取った抽象的なものでしかない。ものごとを最も豊かに具体的に捉える芸術が根本的だ。文学、美術、音楽が最も根本的である。
- ⑥ちがう。知性、感性も一面に過ぎない。これまでの全てを体現しているものはまさしく身体だ。身体こそ根源的である。保健体育が最も根本的である。
- ⑦ちがう。身体というものがそれだけであるわけではない。生活あつての身体だ。だから生活する、つくるということが先だ。技術家庭こそ根本的である。
- ⑧ちがう。人間はただ生きているのでもただ作っているのでもない。「よく生きる」ことなくして人間は生きてはゆかれない。「道徳」が根本的である。

さあ、それではもう一度聞きますので少し考えてみてください。

それでは聞きます。その他もあります。①物質、教科では理科が根本的であると思う人？②論理、教科では数学が根本的であると思う人？③言語、教科では国語や英語が根本的であると思う人？④時代や文化、教科では社会科が根本的であると思う人？⑤芸術、教科では文学・美術・音楽が根本的であると思う人？⑥身体、教科では保健体育が根本的であると思う人？⑦生活や作るということ、教科では技術家庭科が根本的であると思う人？⑧善く生きるということ、教科では道徳が根本的であると思う人？⑨その他の人？

それではその他以外の人で、自説の根拠を述べてみたい人はいませんか。他の説に対する批判でも結構です。

A：迷っているんですが、言葉だと思います。「熱い」という感覚も「熱い」という言葉がなければ「熱い」と分かりません。ですが無意識の記憶というものもあると思野で迷っています。

B：僕は言葉以前の感性だと思います。物質とかいうものは人間が考えたものに過ぎませ

ん。

—なるほど。反論はありませんか。

C：僕は社会科だと思います。すべては歴史の中で考えなければならないと思います。生物の進化もそうです（だから、物質は人間が考えたものではない、といたい）。

それではその他派の人に聞いてみましょう。その他派で自説を紹介してくれる人はいませんか？

D：僕は哲学だと思います。すべての根本に〇〇とは何かという問いがあるからです。

—S先生もその他に手を挙げていらっしゃいましたね。

S先生：僕も今の生徒とまったく同じことを考えていました。

それでは私も一言。始まりは、「そこ」です。皆さんが始まりについていろいろ述べてくれた、その前の所です。皆さんは始まりを求めて外を探していた。そこには始まりはない。始まりは皆さんの足元にあったのです。

え？これで分かった気になった？分かった気になってはいけません。終わります。